

# のびのび通信 第62号

2011年2月

## 2月は、おいしい和菓子を作ったよ！

創作活動で、粘土をつかって和菓子風の置物を作ったことがあります。それも数年前の話。成長したみんなは、作るだけでなく、食べる楽しみもある和菓子そのものを作ってみたくありませんか？

…実は、大人が挑戦してみたくなったのでした！(^\_^)!

何事も本格的に取り組むのが「のびのび」のモットー。ということで、和菓子屋のご主人に、講師をお願いして、道具も準備して…後は、作って食べるだけ！？



はじめての取り組みは、ちょっと工夫が必要です。特に、創作活動では、先生の見本どおりに作れないことに、“つまづき”を感じることもあります。だから、それを

回避するよう準備を進めることも、大人の大切な役割のひとつです。

今回は、ソーシャルストーリーで、「先生と同じものができなくても大丈夫。同じ手順で作ればいいよ」と伝え、“人と違っていいんだ”ということにつなげてみました。



でも、自分勝手に作る子はいません。しっかり、先生のお話を聞いて、集中して作っていました。その集中には、道具や材料をワークシステム的に配置し、作業をしやすくすることが、多少なり影響したのかも…。



出来上がった和菓子は、どうですか？

とっても美味しそうでしょ。どんな形に仕上がっても、味は、みんな一緒というのも和菓子の魅力ですね。

出来上がった和菓子は、これまた本格的に抹茶をたてて楽しみながら食べることに挑戦です。



見よう見まねですが、全員、自分で茶筌をカシャカシャやって、ちょっと苦い大人の味を堪能してました。この“見よう見まね”は、人のいいところをお手本として真似ることで、スキルアップにつながることもあるので、その練習にもなったようです。

和菓子づくりは、子どもも大人も楽しみながら活動でき、そのうえ習得するものも多い！…となると、また、企画しちゃいますよ～！和菓子づくりは、奥が深い！！

【編集後記】 2月の活動が終わって、残すは来月の活動で今年度も終了です。そんなゴールを目前にして、またまた、素敵な連絡です。島根県のNPO活動推進室が企画されている「県民いきいき活動奨励賞」の受賞のお知らせがありました！例年は、11月頃に発表があるんですが、今年度は他のイベントと重複したため、審査が遅れていたそうです。半ば受賞を諦めていましたので、喜びもひとしおです。今年度は、ブログ大賞日本財団特別賞に続く、受賞で、大きな励みになった「のびのび」でした。